

## 障がい児（加配対象児含む）やその保護者が抱えている 悩みや課題に関する調査の結果報告書

土佐清水市地域自立支援協議会子ども支援部会では、平成 29 年度に障がい児（加配対象児含む）やその保護者が抱えている悩みや課題に関する調査を実施し、その調査結果の集約が出来ましたので報告します。

### 1. 調査目的

障がい児やその保護者が抱えている悩みや課題を集約し、どうすればその課題が解決できるのか、子どもにとってより良い支援とは何かを検討し、実施可能なものから施策に反映する。

### 2. 調査対象者

保育園の加配対象児、小学校・中学校の特別支援学級等の児童及び保護者  
(29名)

### 3. 調査期間

平成 29 年 7 月 28 日～8 月 21 日

### 4. 調査方法

子ども支援部会のメンバー（土佐清水市福祉事務所福祉児童係職員、家庭相談員、健康推進課保健師、幡多福祉保健所職員、相談支援事業所職員）による聞き取り調査

### 5. 回答状況

回答者数 17 人                      回答率 58.6%

### 6. 意見が多かった悩みや課題

#### (1) 家庭生活について

- ・子どもの睡眠障害等による仕事や健康面への支障。
- ・親が休息する時間が持てず心の余裕が無い。

#### (2) 障がいについて

- ・障がいがあった時はどうしていいかわからなかった。
- ・身近な所に相談場所や交流会があったらいい。
- ・周囲に障がいを理解してほしい。
- ・福祉サービスにどのようなものがあるのか分からない。情報も少ない。

- (3) 集団生活について
  - ・放課後や休日は誰かの見守りが必要となり、家族の負担が大きいので市内で預かってもらえる所があったらいい。
  - ・スクールバスに障がいの事情を考慮して乗れるようにしてほしい。
  - ・障がいの特性について、教員にもっと理解してもらい、個々にあった支援をしてほしい。また、保護者との連携をとってほしい。
  - ・通所サービスは市外の事業所しかない。
- (4) 子育てについて
  - ・障がい児中心の生活になってしまい、兄弟姉妹にさみしい思いをさせている。
  - ・ひとり親家庭で仕事もあり、子どもに関わる時間が少ない。
- (5) 経済的なことについて
  - ・子どもの医療費の助成が受けられなくなった時が心配。
  - ・子どもの面倒をみななければいけないため、働きたくても働けない。
- (6) 将来の就労について
  - ・本人のやりたい事、出来る事をしてほしい。
  - ・いろいろな仕事を選べる環境になってほしい。
  - ・就労先の情報を知りたい。
- (7) その他
  - ・診断がつかないグレーゾーンの人への支援が出来たらいい。
  - ・本児に障がいについてどのように伝えたらいいか不安。
  - ・災害時の不安。
  - ・障がい者差別についての不安。

## 7. 今後の取り組み

悩みや課題に対する解決方法・施策を整理したうえで、優先順位をつけて取り組みを進めていきます。

平成30年度については、以下の項目について重点的に取り組みを進めます。

- ・保護者に障害福祉サービスや相談先がわかるよう、情報提供用のパンフレットを作成する。
- ・放課後等ディサービスが開設される予定だが、通所に係る送迎を実施してもらえるよう要望していく。
- ・子どもに係る関係機関の支援者同士のきめ細やかな情報共有と連携のために、市独自の研修会の実施に向けて取り組む。